

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第69回 ビジネス文書実務検定試験 (4. 11. 27)

第1級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- 1行の文字数を30字に設定すること。
- フォントの種類は明朝体とすること。
- プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。ただし、網掛けした漢字は同じ読みで間違って使われているため、正しい漢字に訂正すること。なお、網掛けする必要はない。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

| |
|------|
| 受験番号 |
| |

第69回 ビジネス文書実務検定試験 (4. 11. 27)

第1級 速度部門問題 (制限時間10分)

| | |
|----------------------------------|-----|
| 駅や商業施設などで、広告が表示されるディスプレイを見かける | 30 |
| ことが多くなった。これはデジタルサイネージ (電子看板) と呼ば | 60 |
| れ、動画や静止画像を表示する広告媒体だ。これまでの紙を使った | 90 |
| ポスターとは異なり、相手によって内容を変更することができる。 | 120 |
| より訴求力の高い広告を表示できるため、販売促進の手段として多 | 150 |
| くの企業から注目されている。 | 165 |
| ある小売店では、電子端末の付いた買い物カートに、様々な広告 | 195 |
| を表示する実験を行っている。利用者が商品のバーコードを端末に | 225 |
| 読み取らせると、AIが煮た特徴を持つ異なった分野の商品を検索 | 255 |
| し、瞬時に広告として表示する。例えば、辛い味の菓子を購入しよ | 285 |
| うとすると、激辛の即席めんが紹介される。消費者自身が気付いて | 315 |
| いないニーズを刺激することで、購買量が増えた商品もあった。 | 345 |
| 生活習慣を改善するために、電子看板を活用している企業も登場 | 375 |
| した。大学の学生食堂と連携して、事前に登録された個人の情報をも | 405 |
| とに、一人ひとりの健康上体に合わせて、食事の提案をするもの | 435 |
| だ。例えば、塩分を抑えたメニューを提示したり、サラダを値引き | 465 |
| するクーポンを提供したりすることによって、健康的な食生活への | 495 |
| 意識を高めていくことをねらいとしている。 | 516 |
| 電子看板の市場は、高速インターネットの不急に、ディスプレイ | 546 |
| の低価格化が後押しとなって、これまで以上に成長することが見込 | 576 |
| まれる。設置場所の多様化が進み、タクシーやエレベーターの中な | 606 |
| どにも導入されている。公共施設でのフロア案内や避難誘導でも使 | 636 |
| われており、広告以外にも活用されるようになってきた。電子看板 | 666 |
| は、これからも新たな用途が考え出され、情報を伝えるツールとし | 696 |
| てさらに進化することだろう。 | 710 |